

令和7年度 学校評価（学校関係者評価）報告

長崎県立五島高等学校

1 実施方法

学校関係者評価委員会（学校評議員会）において、職員による自己評価、保護者アンケート、生徒アンケートの結果等を資料として示し、自己評価や学校運営、教育活動全般における取組が適切に行われているかどうか評価を受けた。

2 実施日時

令和8年2月4日（水）

3 学校関係者評価の結果（学校評議員からの所見・指導助言） ※全日制の内容含む

- (1) 島内の子どもの数が減少している。島外からの進学に期待するしかないが生徒募集に尽力いただき感謝している。
- (2) スマートフォンについては、生徒の自制心、保護者の責任によるところが大きいと感じた。先生方には学習指導に専念してほしい。
- (3) 体育祭が4月開催（全日制）と聞いて驚いたが、先生方の指導と生徒の主体性で成功に終わったのではないかと。また、定時制においても雰囲気良かった。
- (4) スマートフォン等のトラブルはどうなっているか。
- (5) 退学者、転学者、心のケアはどうなっているか。
- (6) 学校便りは、メール送付でも良い。
- (7) 目指す姿が明確であり、生徒が主体的に活動しているように感じる。
- (8) 日本語学校の留学生と交流ができないか。時間帯を考えると定時制との交流を期待している。
- (9) 定時制の公式キャラクター、良い取り組みである。
- (10) 薬物に関する事案も今後発生しないか心配である。

4 3を受けての学校側の確認・対応等 ※全日制の内容含む

- (1)に関連して、県北、県央、県南、島内の各中学校を訪問している。親元を離れて入学する生徒たちをしっかりと見ていきたい。
- (4)については、大きなトラブルはない。授業中は職員室で預かっているが直前までゲームをしている生徒は散見される。
- (5)については、原因は様々である。家庭訪問やSC、SSWとも連携を取りながらケアしている。
- (8)については、各行事や総合的な探究の時間を視野に、前向きに検討していく。
- 生徒とともに議論しながら、これまで以上に生徒が主体的に学校生活を送るような取り組みを行う。
- スマートフォンに限らず、学校生活や社会生活を送る上でのモラルやマナーの向上を図る必要がある。そのためにも、生徒主体のルール作りに取り組む。また、面談やPTA活動を通して保護者の協力や意識向上を図る。
- 多様な生徒がいる中で、生徒の抱える悩みも様々である。教職員全体で情報を共有し、個に応じた対応やSC、SSWとも連携した体制を構築していく。
- 生徒数減の状況であるが、生徒募集、生徒数確保に力を入れる必要がある。離島留学制度や衛生看護科においても島内だけでなく島外の説明会への参加や中学校訪問を通して、五島高校の魅力を発信していく。
- 全日制、定時制ともに五島高校に対する高い評価や大きな期待が感じられた。